

瀬尾和敬議会便り

H.23. 9月議会

平成23年第3回定例会は、8月25日から10月12日までの49日間の会期で開催されます。今回は決算審査が行われるため、会期が長くなりました。

今会期中に第5次補正6700万円余りが追加され、23年度一般会計予算は、529億1,480万円余りとなり、前年度対比で1.7%増の、大型規模となりました。

◎瀬尾和敬議会便り紙面内訳

- 1面…新しい補正予算の概略
- 2面…一般質問(岩切市長へ)
- 3面…一般質問(上屋教育長へ) うら話
- 4面…今議会のトピックス

*今議会中に行われる22年度の決算審査については、後日お知らせします。



一般会計 第5回補正まで

総額529億1,480万円

補正の主な事業(■は新規計上、○は追加計上)

- | | |
|---|-------------|
| ■新エネルギービジョン策定基礎調査事業 | 10,000,000円 |
| *新エネルギーの方向性を見出すための新エネルギービジョンの策定に向けた基礎調査をする。 | |
| ○甌島地域医療従事者等奨学資金貸与事業 | 1,200,000円 |
| *甌島地域の医療施設等に将来勤務しようとする学生等に対して奨学資金を貸与する。 | |
| ■農産物海外輸出奨励補助金 | 1,000,000円 |
| *農産物(キンカン、2トン)の海外輸出のための出荷資材及び宣伝費。 | |
| ○肥育素牛導入資金貸付事業 | 16,000,000円 |
| *貸付頭数を92頭から132頭に拡大する。 | |
| ■産地水産業強化支援事業(燃油補給施設整備) | 26,775,000円 |
| *一般県道手打蘭牟田港線の道路拡幅に伴い、甌島漁協長浜出張所の漁船用重油タンクの整備を支援するもの。 | |
| ○甌島航路事業 | 1,429,000円 |
| *新高速船建造に係る発注仕様書の作成等の検討を行う新高速船検討委員会(仮称)の設置等。 | |
| ■地域創富力(そうつりょく)高度化調査事業 | 8,800,000円 |
| *「薩摩川内スピリッツ・きやんせ博覧会」(略称:きゃんぱく)を充実・深化させることを目的として、国の委託事業で調査実施するもの。 | |
| ■防災マップ作成事業 | 17,824,000円 |
| *津波ハザードマップ及び防災マップを作成し市内全世帯へ配布するもの。 | |
| ■津波標識設置事業 | 22,000,000円 |
| *津波による被害を防ぐため、海拔、海岸からの距離等を記載した標識を海・河川の沿岸および市内の主要箇所を設置するもの。 | |
| ■小学校屋内運動場及び校舎大規模改造事業 | 4,550,000円 |
| *川内小学校屋内運動場、鹿島小学校普通教室 | |
| ■プレミアム商品券発行事業 | 55,500,000円 |
| *東日本大震災や超円高による景気低迷で集客力の落ちた商工業へのでこ入れと換金手数料の一部を被災地へ義援金を贈るもの。5億円分の商品券を発行するが、プレミアム分5千万円と商品券の印刷代・事務費などを予算措置する。10万円で11万円の買い物ができる。 | |

一般質問質疑応答の概要

*個人質問のトップバッターとして、一問一答方式で行いました。一問一答方式とは、質問時間35分間を使って何回でも質問できる方式です。国会の予算委員会の雰囲気と似ています。

質問1. 市長の政治姿勢について

【質問の背景】

昨年の9月議会で、市長任期の半ばを迎え、マニフェストの進捗状況を質問した経緯がある。今回は、後1年後に控えた市長選挙への出馬の意志があるかどうかを問い質したかった。

(1)薩摩川内市誕生から7年が経過しようとしているが、助役、副市長、市長として行政を担い、どのような感慨をお持ちか。

回答:7年間があっという間に過ぎた気がする。当初は、合併を成功させたい思いが強く、事務の一元化、職員の資質向上・士気高揚、及び市民の不平不満には意を用いた。前市長の辞任により、体調不十分ではあったが、多くの方の支えで市長選挙に臨んだ。マニフェストは、確実に達成可能なことを掲げた。建設・技術部門の決済のスピードアップを図るべく副市長2人制を採用した。20年11月、着任早々の世界不況では不景気対策に奔走し、翌21年1月には九電による原発3号機建設の申し入れなど大きな問題が発生したが、甕航路開設問題、シティセールス推進、川内川抜本改修、新幹線全線開業、南九州西回り自動車道供用開始などに携わり順調に事業を進めてきた。しかし、今年3月11日の東日本大震災により市勢に停滞感が生まれている。再生可能エネルギーに関しては、国とも協議しながら残された任期中に軌道に乗せたい。

(2)市長マニフェストの進捗率は、現時点でいかほどか。

回答:全部・課を集計したところ、23年8月末現在で74%の達成率である。

(3)マニフェストの100%達成に向けて現時点における課題は何か。達成可能か。

回答:役所生活の集大成として、100%達成を目指す。

(4)JC(青年商工会議所)も含めて、市長マニフェストは第三者の検証を受けたか。

回答:JC主催で、前三重県知事北川先生をお招きしてマニフェストの検証が行われ、出席した。指摘されたことを肝に銘じ、4年間の集大成に向けて頑張る。

(5)「再生可能エネルギーを活用するまちづくり構想」を含めて、マニフェストに追加したい事項はないか。

回答:これまでマニフェストに掲げたこと以外でも、少子高齢化対策、観光推進策、総合運動公園整備などに取り組んできた。また、「原発のまち」というイメージから脱却する意味からも、再生可能エネルギーについては国とも連携して取り組んでいきたい。

(6)来年の市長選挙出馬について、岩切市長の見解を問う。

回答:市民生活の安定と、安全で安心できる市政運営を進め、またマニフェストの100%達成が残り1年間の大きな課題である。現時点に於いて来年の市長選挙出馬については、申し上げる段階ではない。

質問2. 学校教育について

(1)自殺予防教育についてどのような見解をお持ちか。

回答:全国の小中学生の自殺者は年間150名ほどであるが、これまで通り命を大切にする教育に取り組みながら、自殺予防教育を推進したい。

(2)新学習指導要領によれば、来年度から新聞を使った学習を進めることになっている。

・新聞は教材として、学校の教材費を充てるべきだがどうか。

回答:これまでの新聞購入は、PTAや職員厚生費から捻出していたようである。協定により、1部40円と格安で提供して頂けることになっている。

・新聞を使った学習の指導方法について、どのように行うか。

回答:紙面の構成を学んだり、複数の新聞を用いて記事の取り上げ方の比較をしたり、論評を切り抜いて感想をまとめたりすることなど、幅広い新聞活用をさせたい。また、投稿欄に意見を発表することなどにもチャレンジさせたいと考えている。

(3)来年度から、中学1,2年生で武道が必修になることについて

・武道に精通している生徒と、スポーツが不得手・初心者の生徒との力量の差はどうするか。

回答:経験の有る無し、習熟度の高い低いなど、他の運動と同じように、その技量に応じて指導をしていく。

・教師の武道に関する力量は、武力及び精神面に於いて万全か。

回答:体育教師の半分が武道の有段者であり、有段者以外の者も含めて県の武道界で研修を受けさせている。

・怪我などの事故を回避するために、民間の武道熟達者を指導補助として迎えられないか。

回答:特に柔道での事故が多い。安全面に配慮して、2,3学期の間に指導者には充分研修を受けさせるが、場合によっては地域の熟達者の協力を仰ぎたい。

一般質問 うら話

今回の一般質問は、くじ運よろしくトップバッターでした。事前準備のために開会30分前に議事堂に入っていくと、その日の傍聴席には、育英地区コミュニティ協議会の高齢者の方々が大勢詰めかけてくれました。そこで一般質問開始の前語りで次のように切り出しました。

「私は薩摩川内市議会議員として7年経ちますが、このように多くの傍聴者の前で質問に立つのは初めてのことでございます」(会場笑い)

「市長も誰もご存じないことを申し上げます。実は先ほど、傍聴者が入場されるときのことです。"おい、みんなバラバラ座らないように、片詰めて座れ。後から来る人たちに迷惑になるぞ"という声が聞こえたのです。育英地区の方々の温かいご配慮に感謝申し上げます」(会場笑い)

一問一答方式のやり取りは、時にアドリブ性が求められます。この冒頭のアドリブで気分良く後の質問ができました。

今議会のトピックス

1. 議員定数26の素案決まる

議員定数等調査特別委員会で、来年の市議会議員選挙の議員定数を現在の34から8減の26にする素案が決まりました。今後、市民の皆さんのパブリックコメントなどを参考にしながら、特別委員会で再度決定し、本会議にかけることとなります。

私自身、行財政改革を進める上からも、議員定数削減は率先垂範して行うべきであり、意見交換会により市民の皆さんの声は市政に反映できる下地ができていること、少数精鋭でも議会としての行政チェック機能は果たせること、等の理由から定数26を求めています。但し、「市民の声を十分に反映できない」などと削減に反対する議員もいます。

私は、**議員が保身に走ることは断じて許されない**、と強く考えています。

2. 新幹線効果、乗降客10%増

3月12日の九州新幹線全線開通から半年が経過しましたが、川内駅の乗降客が10%増加、また、旅行会社の団体ツアーによる甕島航路の乗客数は、対前年度の2倍に上ることが市長より公表されました。新幹線を絡めたシティセールスは、交流人口増や定住促進に欠かせないものであり、市民の市内間交流なども含めながら、今後も推進策を提言して参ります。

3. 「再生可能エネルギーを活用する新たなまちづくり」の推進

岩切市長は今定例会の「施策の概要」の中で「再生可能エネルギーを活用する新たなまちづくりを進め、産業振興、企業誘致による雇用の創出を目指す」とし、「新エネルギービジョンの策定準備を進め、経済産業省など、国との連携を密にしながら取り組む」としています。

川内原発3号機建設に赤信号が点っている現在、「原発のまち」から「エネルギーのまち」への舵取りが始まったということでしょう。

4. プレミアム商品券発売

長引く景気低迷を打破するために、11月からプレミアム商品券5億円分が発売されます。また今回は、引き換え手数料の一部を、東日本大震災への義援金に充てることとしています。

個人の買い取りは最高10万円まで。11万円分の買い物ができます。

◇台風一過、突然秋冷が襲ってきました。皆様にはお変わりありませんか。

◇東日本大震災の復興がままならない中、台風15号や大雨による災害が発生しました。被災地の皆様には心からお見舞い申し上げます。それにしても、矢継ぎ早の被災。日本はどうにかなくてはならないと真剣に考えています。

◇新しく野田総理大臣が誕生し、新内閣がスタートしました。この内閣は「どうしよう内閣」と言われていますが、国難を乗り越えるためになりふり構わず頑張る、という気概は伝わってきます。

◇来年は、市長選挙、市議会議員選挙が行われます。議員定数は大幅削減になります。が、地域から議員がいなくなれば市政に声が届かなくなる。この危惧を払拭すべく、これからも頑張ります。

◇この議会便りをご覧になった感想やご意見をお聞かせ下さい。(Telメールは左記)

0909(510)04000

seo@po5.synapse.ne.jp